



(公財) 国際宗教研究所 宗教情報リサーチセンター

# 「ラーグ便り」 小特集

→他の論文・研究ノート・小特集のバックナンバーは[こちら](#)をご覧下さい。

\*印刷してご利用の際は2頁目以降を印刷して下さい。

小特集

## 宗教関連特集の雑誌、続々発売

本号ラーク便りの国内宗教関連記事のなかでも紹介されているように、本号が採録対象期間とする 2010 年 1 月から 3 月にかけては、宗教関連の特集を組んだ雑誌の刊行が相次いだ。どのような雑誌でいかなる特集が組まれているのだろうか。

宗教情報データベースから得られた情報を以下で網羅的にあげてみよう（媒体名・号数・特集名は太字で示した。特集名以下の内容は、見出しの主要なものを抽出している。なお宗教記事データベースに登録されている雑誌情報は発行日である。以下の掲載情報は東京都内での発売日を基準とした点に注意頂きたい）。

### (1) 婦人公論 2/7 号（1/22 発売）

女性向けライフスタイル誌

2010 年 最新葬儀事情 “理想の最期” を迎えたい

・葬儀 故人も遺族も納得の見送りを

・知っておきたい墓地・墓石の常識

・遺言書 40 代で考える“人生の棚卸し”

・女おひとりさま同士、楽しみながら備えたい

## (2) SAPIO 2/10・17 早春合併特大号 (1/27 発売)

オピニオン誌

タブーに斬り込む！ 誰も知らない日本の宗教「カネと実力」

- 聖域 巨大教団が激震！ 小沢一郎が画策する「宗教法人課税」の「本当の狙い」

- 国税 巨大宗教法人 vs 国税庁最強集団「知られる微税闇戦史」

- 大図解 ニッポン「新宗教」大勢力図

- 選挙「自民党の集票マシーン」創価学会 800 万世帯は「国政選挙」に倦み始めている

- 収益事業 まるで“宗教財閥” 加速するサイドビジネスの百花繚乱

- 特権売買「宗教法人入荷しました」ネットに出品も！ 休眠宗教法人に群がる「神様ブローカー」の闇

- 人物伝 ニッポンの「教祖様」列伝

## (3) 家庭画報 3 月号 (2/1 発売)

女性向けライフスタイル誌

特別企画 平城京遷都 1300 年記念

- 春の奈良「仏像を巡る」

- 大和路 雛の里を訪ねて

- 唐招提寺 天平への旅

## (4) 週刊 ダイヤモンド 2/13 号 (2/8 発売)

ビジネス誌

特集 安心できる葬儀

- 実録 葬儀危機一髪！

- 葬儀の闇を徹底解明！

- 価格のカラクリ

- 変化する葬儀の新潮流

- 葬儀の疑問に答える

- 葬儀社「対応安心度」ランキング

## (5) サライ 2 月号 (1/9 発売)

男性向けライフスタイル誌

大特集 発刊 100 周年記念 自然・神・人が織りなす伝承文学の原風景「遠野物語」を旅する

- 日本民俗学ここに誕生す『遠野物語』とは何か  
如何にして、稀代の靈異譚集は生まれたのか

## (6) 月刊 宝島 4 月号 (2/25 発売)

ビジネス誌

地下鉄サリン事件 15 年周年企画 オウム最後の謎

- 当局押収の未公開資料！「村井ノート」の封印を解く 刺殺された“オウム最高幹部”が描いた悪夢のテロ兵器

- 元教団幹部・野田成人が語る オウム真理教=現アーレフの「その後」

## (7) an・an 3/10 号 (3/3 発売)

女性向けライフスタイル誌

創刊 40 周年記念特大号 スピリチュアル BOOK

- 江原啓之さんから本誌読者へ 32 のメッセージ！ 現代女性の生き抜き方読本

- 読むだけで心が潤い沸き立つ 美輪明宏さんのオーラのお言葉

- 身近に置くだけで悪運退散！ 手軽に楽しめるお祓い生活カタログ

- 心理占星術研究家・鏡リュウジさん監修 “大惑星”が教えてくれる、こんな時代の道標と幸運の掴み方

- スピリチュアル Break Time 1 恋に効くカワイイ味方 理想の恋お守りを持ち歩こう！

- スピリチュアル Break Time 2 セレブが夢中のパワースポット、“セドナ”ってどんなところ？

- 今、脚光を浴びる昭島レイラさんが本誌初登場！ 「淀み」を浄化させる秘訣は何？

- 東洋占術研究家 守護霊に導かれた奇跡の人生。 鈴木香月さんの使命とは？

- 予知夢、おまじない、守護霊… 告白、私のスピリチュアル体験

- 特別な一夜は身も心も清らかに。 京都＆善光寺・宿坊に泊まる旅

- 大人気のスピマを初体験！！ 選りどりみどりで占いを楽しめます

## (8) CREA 3 月号 (2/6 発売)

女性向けライフスタイル誌

神社仏閣から巨木・温泉・霊山まで 47 都道府県のパワースポット

- 広末涼子さんが訪ねる 神の森 伊勢神宮

- 2000 年の歴史を誇る聖地へいざ！ 伊勢神宮のすべて

- 酒井順子さんが行く 生命の島・屋久島で縄文杉に出会う旅

- 高千穂リピーターの未希さんが案内します！ 心安らぐ神話の里 高千穂へ

- ・心を浄化しすべてをリセットする永遠の聖地 高野山  
生まれ変わりの旅へ
- ・東京にも、こんなに強力パワーが宿る！ 思い立つたらすぐに行ける！ 厳選 東京 23 区のパワースポット
- ・『古事記』研究の第一人者三浦佑之先生がご指南  
婚カツに効く！？ 縁結びの出雲参り
- ・古代太陽信仰から陰陽道、そして未来へと続く 京都「魔界」へのいざない
- ・遷都 1300 年秘宝 & 秘仏の特別開帳を狙え奈良  
2010 年会いに行きたい仏像はこれ！
- ・2 泊 3 日でのんびりウォーク 女子的 熊野古道案内
- ・自然のパワーを体感！ 日本の滝、巨樹・巨木、山、  
温泉 10 選
- ・30 代 女の厄除け物語 あなたの身近にも、隠れた  
パワースポットが！
- ・47 都道府県の 定番＆穴場 パワースポット大公開！
- ・今さら聞けないけど、知っておきたい 神道と仏教  
基本のき

#### (9) pen 3/1 号 (2/15 発売)

男性向けライフスタイル誌

キリスト教とは何か

- ・Q & A で学ぶ、キリスト教の基礎知識
- ・指導者や聖地、3 大教派はこんなに違う
- ・旧約とは？ 新約とは？ 聖書を紐解く
- ・西洋美術で読み解く、キリスト教の世界
- ・カトリックの聖地、ヴァチカン市国とは
- ・いまも厳格に生きる、修道士の一日に密着
- ・もっと知りたい、教会デザインの歴史
- ・日本が誇る、美しい教会建築を訪ねて
- ・キリスト教におけるシンボルの意味
- ・意外と知らない、トリビアあれこれ
- ・敬虔な信仰が生んだ、聖なるしらべ
- ・もっと理解が深まる、名作映画 15 本

#### (10) 週刊現代 3/13 号 (3/1 発売)

男性向け総合誌

美しい「死に方」を求めて—終末期医療・葬式・  
お墓の新しい流行と考え方「理想の最期」とは

- ・「痛み」も消えるし、「意識」も残る
- ・長患いせずに「大往生」
- ・「がん」で死ぬのは悪くない？
- ・「葬式」は本当にいらない？
- ・「お墓」もいらないの？
- ・円満に死ぬための「費用」と「覚悟」

#### (11) 週刊朝日増刊 allora 3/15 号 (3/6 発売)

女性向けライフスタイル誌

- 神が降り立つ場所で、日々の健康と幸せを祈る 沖  
縄の聖地めぐり
- ・池澤夏樹が歩く斎場御嶽
- ・中江裕司監督に聞く、キジムンがいる沖縄
- ・神話を祭事に彩られた「神の島」、久高島

#### (12) 日経おとの OFF 4 月号 (3/6 発売)

男性向けライフスタイル誌

正しく覚える！ 冠婚葬祭マナー

- ・冠 お祝いは誰までするべき？／贈り物の〇と×
  - ・婚 招待状の返事の書き方／着る服、着てはいけない服／スピーチ成功の決め手／格を上げる披露宴のスピーチ／使える名言
  - ・結婚式 披露宴Q&A
  - ・冠婚葬祭
- 結婚祝い、不祝儀にいくら包む？／祝儀袋・不祝儀袋の選び方／表書き、中袋の書き方／ふくさの包み方／お祝い、お見舞いに贈る花／気持ちを伝える花の選び方／結婚式、葬式で言ってはいけない言葉／家族に掛ける言葉
- ・葬弔事にふさわしい服装／拝礼の仕方／通夜・葬式Q&A
  - ・祭 お墓参りの作法／お中元、お歳暮の贈り方

#### (13) プレジデント 50 + 4/17 号 (3/17 発売)

ビジネス誌

ビジネスマンを救う「宗教と神社仏閣」大図鑑 不安と悩みを洗い流す

- ・エリア別 一度は訪れたいたい厳選スポット 55 日本人の心のふるさと全国古寺社マップ
- ・奈良・京都の至宝、逸品の魅力を紹介。それは厳かながら優しくもあり「仏像ワンダーランド」心が和むベスト 20
- ・全調査！ 教団の信者数、資金力、政治力、美術力、歴史力…衝撃！これが十大新宗教の実力ランキングだ
- ・この道 40 年！ 雅な「ご朱印」コレクション大公開
- ・三島由紀夫、江戸川乱歩、志賀直哉、夏目漱石…あの偉人、天才らが一堂に！ 学びの宝庫 わが体験的靈園・墓めぐりの愉悦

- ・「有名人の墓」完全ガイド 青山、多磨、雑司ヶ谷…都内五大霊園
- ・今さら聞けない、誰も教えてくれない！仏事・神事の基本と新常識 参拝、法事、仏壇、墓 知らないと危ないQ&A 25
- ・「般若心経・写経」入門
- ・4 時起床・9 時就寝、禁酒禁煙、携帯電話厳禁の世界を体験 1 泊 2 日「厳寒の永平寺」参禅修行記

**(14) 週刊金曜日 3/19 号 (3/19 発売)**

オピニオン誌

- 森達也責任編集 特集 地下鉄サリン 15 年
- ・権力と民衆が寄りそい、刑事司法は殺された「麻原死刑囚・再審弁護人」松井武氏に聞く
- ・私たちはなぜ、信者たちの死刑回避を求めるのか「オウム真理教家族の会」永岡夫妻に聞く
- ・社会が変わらなければ“オウム的なもの”が出てくるひかりの輪代表・上祐史浩氏に聞く

**(15) 別冊ランドネ 全国パワースポット完全ガイド**

(3/23 発売) 女性向けアウトドア誌

聖地へお出かけ

- ・四つの聖地を巡る旅(高千穂・屋久島・伊勢神宮・出雲大社)
- ・東京スピリチュアル案内
- ・関東のご利益旅へ
- ・全国の聖地へ(北海道昭和新山・摩周湖・東北霧場恐山・白神山地…)

- ・沖縄パワースポットな島
- ・スピリチュアルワールドへようこそ
- ・噂のご利益アイテム
- ・縁結びにご利益のある神社(東京大神宮・川越簗川神社…)
- ・通に聞いた、聖なる地。
- ・パワー満載！町歩きイラスト

**(16) 月刊 宝島 5 月号 (3/25 発売)**

ビジネス誌

総力特集 政治パワー、資産、ビジネス、教祖の収入まで徹底調査 ニッポンの新宗教！

- ・宗教の政治パワー
- ・新宗教の資産パワー
- ・新宗教ビジネスの方程式

**(17) 一個人 5 月号 (3/26 発売)**

男性向けライフスタイル誌

保存版特集 奈良 古寺と仏像

- ・奈良大和路の必見の仏像 秘仏 特別開帳
- ・1300 年前の奈良の都を CG でリアル再現！平城京の歴史を読み解く
- ・仏教伝来 200 年に向けた国家プロジェクトの謎に迫る 東大寺大仏開眼物語
- ・唐の受戒制度を日本に伝えた鑑真和尚と唐招提寺
- ・世界遺産の寺宝が物語る法隆寺の 4 つの謎
- ・エリア別 散策マップ付き「地域別」奈良の仏像必見の 72 体

ここに取り上げた書誌情報以外にも注目してみると、『週刊ダイヤモンド』4/3 号の特集記事「無縁社会 おひとりさまの行く末」で「無縁死や経済的弱者を救う新しい葬送サービスの登場」が紹介されているように、宗教関連事象を直接のテーマとしない特集でも、その周辺の事柄として宗教関連事象が扱われることもある。その他、『婦人公論』「大人になったカルトの子供たち」(3/7 ~ 4/22 号)のような企画連載も見られる。これらは一覧からは省いているが、様々なメディアによって宗教関連情報が一般に向けて発信されていることが分かるだろう。それだけ宗教に対してメディアの関心が集まっているとも言えそうである。問題はその関心がどのような方向に向いているかであろう。

そこで、これらの宗教関連特集の内容を見てみると、①開運関連、②神道・仏教・キリスト教関連、③葬祭関連、④新宗教関連の大よそ 4 点に分類できる。

①開運関連は、「悪運退散」「厄除け」「縁結び」といった願掛けに「ご利益」があるとされる場所や物、あるいは神秘的／非日常的な体験によって運気の向上や心身のリフレッシュを図るこ

とができるとされる場所や方法を特集したものである。(7) (8) (15) がこれに当てはまる。すべて女性誌で、このうち (8) (15) の 2 誌はパワースポットを大々的に取り上げている。

②神道・仏教・キリスト教関連は、神道・仏教・キリスト教の教義・歴史・文化財に関する解説や紹介など、教養的な色彩が強いものである。②には (3) (8) (9) (13) (17) が該当し、媒体としてはライフスタイル誌がほぼ全てを占める形となっている。(9) を除くと神仏／寺社に関連するものとなり、これで新たな分類も可能であろう。その場合、(5) (11) がここに入ることになる。一方、キリスト教をテーマとする特集は、1 誌のみである。ただし『AERA』2/1 号では、連載シリーズ「日本の聖域」で「日本のキリスト教会」と題して、日本のキリスト教会の現状を韓国のキリスト教会との関係から描いている。本号の採録期間からは外れるが、『考える人』春号（4/3 発売）では「特集 はじめて読む聖書」が企画された。キリスト教への関心は今後高まっていくのだろうか。

③葬祭関連は、冠婚葬祭のマナー、直葬や家族葬など近年見られる葬儀形態の変化、葬儀や墓にかかる費用の問題などを扱ったものである。③に入るのは (1) (4) (10) (12) (13) で、媒体にこれといった偏りはない。言い換えれば、どのような媒体からも注目されるテーマの一つと言えるのだろう。

④新宗教関連は、新宗教教団をめぐる事件や資金、政治との問題をテーマとするものである。(2) (6) (13) (14) (16) がこれに該当する。ビジネス誌の多くが教団の資金面を中心に特集を組んだが、こうした特集では『週刊ダイヤモンド』2009/9/12 号「特集 新宗教 巨大ビジネスの全貌」が記憶に新しい。

いまでもなく①から④については、さらに個別的に踏み込んだ検討が必要である。そこでは、本号の採録期間を遡り、興福寺創建 1300 年記念「国宝 阿修羅展」の開催、幸福実現党的政界進出・公明党の衆院選惨敗、アニメの「聖地巡礼」やパワースポットブームなど、宗教界を取り巻く人々の反応や価値観、あるいは高齢化や無縁化のような社会的問題が与える宗教習俗の変化を考慮する視点が必要になるはずである。

そのための一つの足がかりとして、2009 年 1 月から 12 月までにどのような雑誌で宗教関連の特集が企画されたのか、主なものを表にまとめ、掲げておく。このように宗教関連特集自体は、ある程度持続的に発信されてきたものである。しかし本号の採録期間に入ってからは、ライフスタイル誌を中心として、宗教関連のタイトルが読者の目を惹くように表紙を飾り、その内容に紙幅の多くが費やされるなど、宗教関連情報を前面に押し出した特集企画が大型化してきた傾向は指摘できるように思える。

今回対象としたのは 2009 年の記事であるが、2010 年にはいっても、続々と宗教関連の特集が様々な雑誌で企画されている。表紙に「御利益あります。」「もっと知りたい！ 神社とは何か？ お寺とは何か？」、「後悔しない！ 相続・事業継承＆葬儀・墓」などのタイトルを銘打った雑誌が書店に平積みされている。こうした報道熱はいまだ冷める気配を見せていない。一連のブームはいつまで続くのだろうか。

こうした現象を支えている社会的背景やニーズ、あるいは宗教関連特集の質的・量的な分岐点はどこにあるのか、それらを見極めるためにはしばらく観察を継続し、稿を改めて紹介してみたい。

[文責：相澤秀生]